

講義名	海外ホスピタリティ研修			授業形態	
担当教員	瀧田 実	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限 / 前期 水曜日 4時限		
		単位数	4	履修開始年次	2年生
				ナンバリング・コード	TOR241

主題と概要

「ホスピタリティとは何か」を実践的に学びたい学生に最適な科目である。今年度は研修先をシンガポールとし、海外ホスピタリティ研修を実施する。事前にホスピタリティとサービスの概念比較やホスピタリティの発揮効果、また海外研修が必要となる旅行英会話などを学び、グループ毎で設定したテーマをもとに現地でも調査・分析活動を行う。当該研修を通じてホスピタリティマインドの重要性や日本と海外での考え方の相違を実体験し、帰国後には成果物として調査内容を整理したうえ、全体発表会の機会を設ける。

到達目標

ホスピタリティとサービス概念の違いについて明確に説明できるようになる。
ホスピタリティを発揮している外地の活動を調査し、日本と海外のホスピタリティマインドの共通点、相違点を述べることができるようになる。
海外研修を通して帰国した現地の歴史・文化・観光産業について述べることができるようになる。
海外研修を通じて、コミュニケーション力（傾聴力・発声力）や協調性を身に付けることができるようになる。

提出課題

授業にて、随時小レポートの提出を求める。
研修旅行中の活動レポートを毎日提出する。
授業の集大成として「海外におけるホスピタリティへの取り組み」について調査結果をまとめ、レポート提出とグループ発表を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業で課す小レポートについては、次回授業の冒頭で出題意図と要点を解説し、前回の内容を復習する。また、優れたレポートを紹介するとともに、学生からの質問や意見についても解説を行い全体で共有する。

評価の基準

平常点	50%
(小レポートと授業への参加姿勢)	
研修旅行中の活動レポート	20%
研修調査レポートと発表	30%

履修にあたっての注意・助言他

この授業は、海外研修に参加することが必須要件となる。
少人数かつグループディスカッションが多い授業となるので進級・欠席は厳禁とする。
海外旅行に際して、パスポート取得と健康診断の受診・予防接種等の実施確認が必須である。
海外旅行に際して、大学が指定する旅行医療保険への加入が必須となる。
原則として水曜日・4限の連続授業とするが、授業の特性から変更した授業日の設定をすることがある。
海外研修の開始は、9月初旬とする。
海外研修での安全確保の徹底のため、規律性・団体行動に不適と教員が判断した場合、当該学生の履修を中止することがある。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

必要箇所をプリント資料として配布、パワーポイントを使用して授業を進行する。
参考文献は、適宜講義内で紹介する。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
予習内容：ホスピタリティや海外渡航に興味を持ち、事前にインターネット等で知識・情報を収集しておく（120分）
復習内容：配布した資料で内容を振り返り、全体像をつかんだうえ今後の学習イメージを作り上げる（120分）
- 第2回 現地研修
予習内容：テーマに沿った内容について、事前にインターネットや関連書籍などで情報収集しておく（90分）
復習内容：現地基本情報や旅行手続きについて資料を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第3回 海外旅行のホスピタリティと旅行心得・マナー
予習内容：テーマに沿った内容について、事前にインターネットや関連書籍などで情報収集しておく（90分）
復習内容：海外旅行の心得、マナーについて資料を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第4回 観光業界を考察するホスピタリティ
予習内容：テーマに沿った内容について、事前にインターネットや関連書籍などで情報収集しておく（90分）
復習内容：ホスピタリティの意味や発揮効果について資料を整理、課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第5回 I R（総合リポート）の研究
予習内容：テーマに沿った内容について、事前にインターネットや関連書籍などで情報収集しておく（90分）
復習内容：I R（総合リポート）について資料を整理、課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第6回 7回 旅行会話（1）（2）
予習内容：テーマに沿った内容について、インターネットや関連書籍などで自分なりに整理しておく（90分）
復習内容：研修中に必要な英会話について資料を整理、課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第8回 チーム作り（帰国性と英語力）
予習内容：テーマに沿った内容について、インターネットや関連書籍などで自分なりに整理しておく（90分）
復習内容：グループ活動の重要性について資料を整理、課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第9回 現地研修情報と研修旅行手続き（2）
予習内容：テーマに沿った内容について、事前にインターネットや関連書籍などで情報収集しておく（90分）
復習内容：現地情報や旅行手続きについて資料を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第10回 事前研修（テーマ設定）
予習内容：これまでの資料を見直し、インターネットなどで情報収集のうえ自分なりに整理しておく（90分）
復習内容：グループでの議論や配布資料を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第11回 事前研修（課題項目の確認）
予習内容：これまでの資料を見直し、インターネットなどで情報収集のうえ自分なりに整理しておく（90分）
復習内容：現地調査時をイメージしながら項目を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第12回 海外研修で得た資料を見直し、インターネットなどで情報収集のうえ自分なりに整理しておく（90分）
復習内容：海外をイメージしながら活動項目や持参品を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第13回 海外研修日程表、活動項目表に従い、自分なりに行動イメージを整理しておく（90分）
復習内容：1日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第14回 海外研修日程表、活動項目表に従い、自分なりに行動イメージを整理しておく（90分）
復習内容：2日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第15回 海外研修日程表、活動項目表に従い、自分なりに行動イメージを整理しておく（90分）
復習内容：3日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第16回 海外研修日程表、活動項目表に従い、自分なりに行動イメージを整理しておく（90分）
復習内容：4日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第17回 海外研修日程表、活動項目表に従い、自分なりに行動イメージを整理しておく（90分）
復習内容：5日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第18回 海外ホスピタリティ研修 6日目
予習内容：6日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（90分）
復習内容：6日目の活動内容を整理、レポート提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第19回 海外研修のレポート作成（1）（2）
予習内容：テーマに沿った内容について、グループで議論や研修資料を整理、提出課題に取り組みことで復習する（90分）
復習内容：グループでの議論や研修資料を整理、提出課題に取り組みことで復習する（150分）
- 第20回 グループ発表、まとめ
予習内容：テーマに沿った内容について、発表手順や内容を整理、最終的な準備をする（90分）
復習内容：これまでの資料を全て見直し、内容全体の振り返りを行うこと（150分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標を達成することで共通0に貢献できる。
当該科目は「ホスピタリティとは何か」を実践的に学びたい学生向けである。事前の基礎学習でホスピタリティの概念を学び、その発揮が生み出す付加価値や効果を予測分析し、実際の海外見聞を通じて観光業界の振興を考察する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回の授業に関する感想、質問、意見や課題レポートの提出手法としてクリッカー（Respon）を使用。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
航空会社での勤務経験（本社部門、空港部門、海外駐在）を活かして、観光業界や海外生活での様々なエピソードを交えながらホスピタリティの重要性や英会話力の必要性を伝え、あわせて学生のグローバル感覚醸成を図る。

備考

原則として、水曜日3・4限の連続授業とするが、授業の特性から、変則して授業日が設定されることに注意すること。